

川崎医科大学附属病院 がんセンターNEWS

Vol.11 2012 春号



撮影 園尾博司

- 心療科のご紹介
- ガイドラインの解説－食道がん－
- 第4のがん治療－発進!!!免疫療法

インフォメーション

- 第11回 Cancer Seminar
- 平成24年度 岡山県緩和ケア研修会
- 第11回 市民公開講座～がんサロン～
- オープンカンファレンス



心療科のご紹介

心療科（精神科）では、児童思春期から青年期、成人期、老年期と至るライフサイクルにおいて幅広く精神的トラブルに関する診療を行っています。当院のような総合病院の精神科医療では、身体の病に傷ついた患者さんの精神的支援は非常に重要な領域のひとつになります。その中でもがん診療については、告知や治療に伴う適応障害、うつ病などの機能的な精神疾患や、せん妄、薬剤性精神障害などの外因性精神疾患の治療、さらには患者さんのご家族・ご遺族の精神的ケアなど、診療対象はきわめて広汎で、各科から毎日のように新たな依頼があります。また院内緩和ケアチームにおいても精神科医と臨床心理士が常時参加しており、がん治療初期から終末期に至るまでの診療活動を行っています。他院に通院中のがん患者さんであっても、精神的なケアの必要性があると思われる場合は、当院の外来（予約制）にて対応いたします。どうぞかと迷われた際は、当科外来までお問い合わせ下さい。



ガイドラインの解説－食道がん－

消化器外科部長 平井 敏弘

CQ：切除可能例に術前化学療法は推奨されるか（2007年4月版）

推奨事項として「切除可能例に推奨する十分な根拠はない〔グレードC〕」と記載されています。しかしながら、日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）9907研究において、切除可能な臨床病期Ⅱ・Ⅲ胸部食道癌症例ではCDDP+5-FUによる術前化学療法の施行によって全生存期間が有意に改善することが示され、2012年発行予定の第3版ガイドラインにおいては、臨床病期Ⅱ・Ⅲに術前化学療法を施行することが〔グレードB：科学的根拠があり、行うよう勧められる〕と記載されることになりました。

しかし、病期Ⅲにおいては予後に対する上乗せ効果はなく、進行食道がんにおいてはさらに強力な集学的治療（3剤併用あるいは放射線併用）が模索されようとしています。

第4のがん治療—発進!!! 免疫療法

臨床腫瘍科部長 山口 佳之



がんの免疫療法をご存じでしょうか。生体防御の要として免疫機構があり、われわれは細菌やウイルス感染から守られています。この免疫機構をがん治療に応用する試みが、がんの免疫療法です。がんにも抗原性が存在し、免疫機構が確かに反応していることが解明され、手術、抗がん剤、放射線に続く、身体に優しい第4の新規治療として研究されてきました。

過去、4半世紀の本領域の進歩を振り返りますと、1980年代のサイトカインの発見とクローニング、1991年のがん抗原MAGE遺伝子の同定、2000年代の抗体医薬の実現という大イベントに続き、2011年度は米国において去勢抵抗性前立腺がんに対するがんワクチンSipuleucel-Tおよびメラノーマに対する免疫制御薬抗CTLA-4抗体Ipilimumabのダブル承認という、免疫療法史上、記念すべき一年となりました。われわれも世界に負けじと、日々、新規免疫療法の研究治療を実施いたしております。

ひとつはがんワクチンです。東大医科研のがんペプチドワクチンは2月6日にNHKで報道され、現在、問い合わせが殺到しております。われわれは、厳格な条件のもと、肺癌(当院呼吸器内科 岡部長と共同)、食道癌、胃癌、大腸癌、膵癌、乳癌に対して実施しております。研究ですので、現時点では「効果未定」とお伝えしなければなりません。延命効果に期待が寄せられております。実施条件に合致される方は、残念ながら、問い合わせいただいた方の内10%程度しかおられません。まずは主治医先生からの紹介状を病院宛ご提供ください。主治医先生と検討のうえ、折り返し連絡させていただきます。

もうひとつは活性化自己リンパ球移入療法です。こちらはがんワクチンにご参加いただけない方を中心に提供させていただいております。がんの種類によって実績が異なり、抗がん剤を凌ぐ有効性は示されておませんが、それをご理解のうえご希望いただく方に対し、副作用のほとんどない、QOLを改善する治療として、多数の方に実施させていただいております。1回¥73,100です。現在、ご希望多数にて当院の許容数を超過してしまい、約2カ月お待たせしご不便をおかけしておりますことを、この場でお詫び申し上げます。鋭意、培養数増加に向け、対策を進めているところです。こちら、ご希望の場合にはまず、主治医先生からの紹介状を病院宛ご提供ください。

なお、この度、免疫療法を研鑽する学会「第25回日本バイオセラピー学会学術集会総会」を、来る2012年12月13、14日の2日間、倉敷市芸文館で開催させていただくこととなりました。多数の研究成果が発表されますので、是非、ご参加ください。



がんセンター活動予定

第11回Cancer Seminar (医療関係者向け)

日時: 平成24年7月14日(土) 13:30~16:30

場所: 川崎医科大学 校舎棟7階 M702教室

テーマ

生活習慣関連がん

講演

- ①「日本人のがんーなぜ増えているのか、予防できるのか?」
香野 賢 (川崎医科大学附属病院 食道・胃腸内科部長)
- ②「食道がん・胃がん」
鎌田 賢尚 (川崎医科大学附属病院 食道・胃腸内科医長)
- ③「大腸がん」
佐藤 友美 (川崎医科大学附属川崎病院 健康管理センター長)
- ④「乳がん」
樺木 藍雄 (川崎医科大学附属病院 乳腺甲状腺外科医長)

平成24年度岡山県緩和ケア研修会

日時: 平成24年9月1日(土) 13:00~19:30から

平成24年9月2日(日) 9:00~17:00

(2日間 全日程の参加が条件です)

場所: 川崎医科大学 8階 M-801教室

対象: すべてのがん診療に携わる医師

第11回市民公開講座~がんサロン~

日時: 平成24年9月8日(土) 13:30~16:00

場所: 川崎医科大学 8階ラウンジ

〈講演〉13:30~15:00〈懇親会〉15:00~16:00

オープンカンファレンスのご案内

下記のカンファレンスを行っています。
参加ご希望の際は地域医療連携室までご連絡をお願いします。

呼吸器カンファレンス

呼吸器内科・呼吸器外科・放射線科(診断・核医学)・病院病理部合同で「呼吸器X線カンファレンス」を行っています。院外の先生方もどうぞご参加ください。気になる症例がありましたらレントゲンをお持ちいただいても結構です。

日時 第2・4月曜日 18:00~19:00

場所 9階中病棟 第2カンファレンス室

緩和ケアカンファレンス

毎週木曜日13:15から14階西カンファレンス室で緩和ケアチームのカンファレンスを行っています。

Case Conference

各診療科から症例を提示し、その診断と治療およびケアについて複数の診療科で、また医師・看護師のみならず広くコメディカルも参加して横断的かつ総合的に討論し勉強する症例検討会です。

日時 第2木曜日 18:00~19:00

場所 川崎医科大学 校舎棟M703号教室

大腸癌化学療法カンファレンス

外科・内科・臨床腫瘍科・放射線科の医師・看護師・薬剤師など多職種からなる医療チームで、外来大腸悪性腫瘍に対する治療方針(化学・放射線療法プロトコール・手術介入など)の決定についてのカンファレンスを行います。院外の先生方や医療スタッフの皆さまもどうぞご参加ください。

日時 第1・3金曜日 17:30~19:00

場所 本館10階 遠隔治療センター

Nutrition Support Team(NST)カンファレンス

毎週火曜日14:00から14階南カンファレンス室でNSTミーティングと勉強会を約1時間行っています。どなたでも参加可能です。



川崎医科大学附属病院

〒701-0192 岡山県倉敷市松島577

TEL 086-462-1111(代表)

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/>

紹介患者さま受診予約窓口

■地域医療連携室

TEL(086)462-1111(内線22611・22613)

FAX(086)464-1166

E-mail renkei@med.kawasaki-m.ac.jp